

オープンアクセスの進展と電子 ジャーナルの利用統計

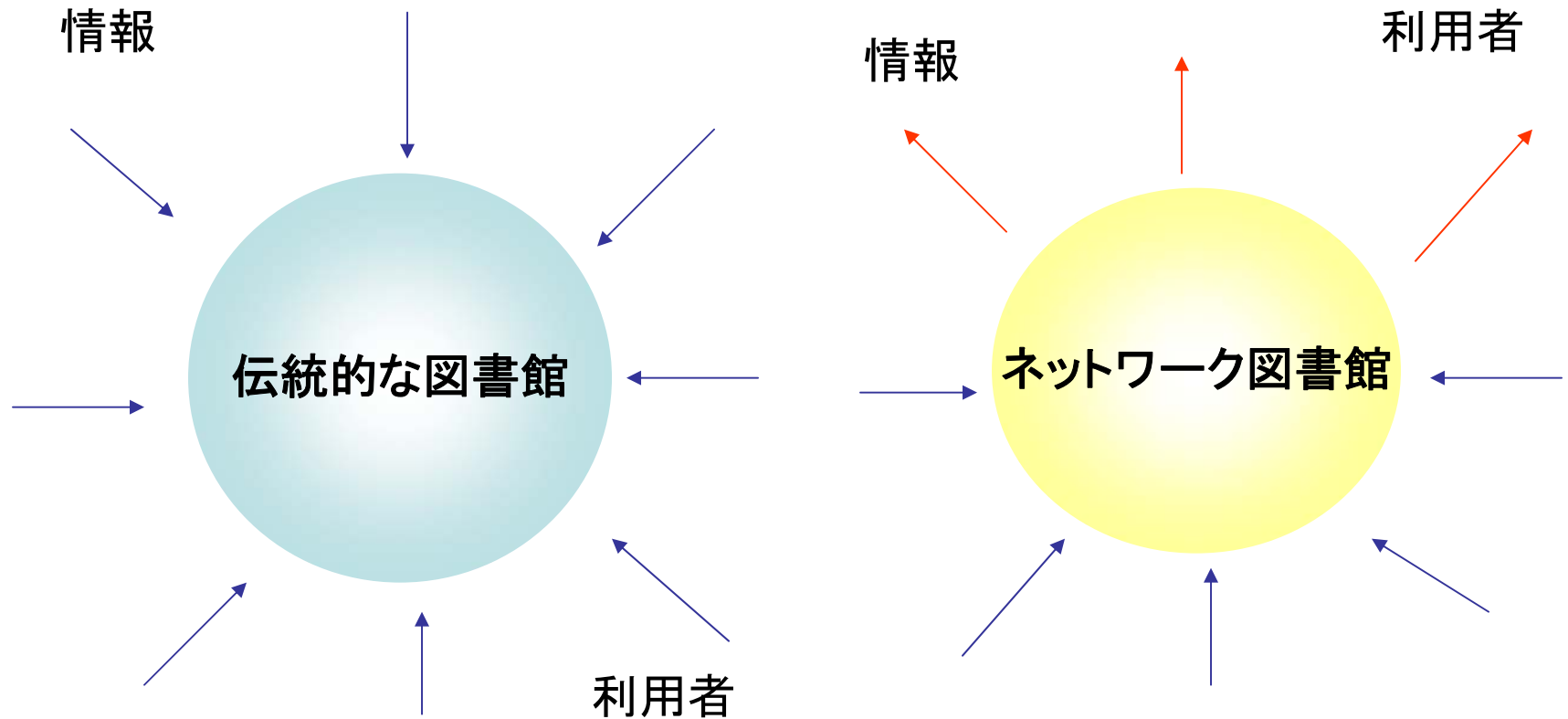
2011年2月4日

加藤 信哉(東北大学附属図書館)

skato@bureau.tohoku.ac.jp

- COUNTERの活動のレビューにより以下の点を検討する。
 - 電子ジャーナル利用統計の動向
 - オープンアクセスの電子ジャーナル利用統計への影響
- 電子ジャーナルの利用統計の粒度の変更が意味するもの

図書館環境の変化



COUNTER



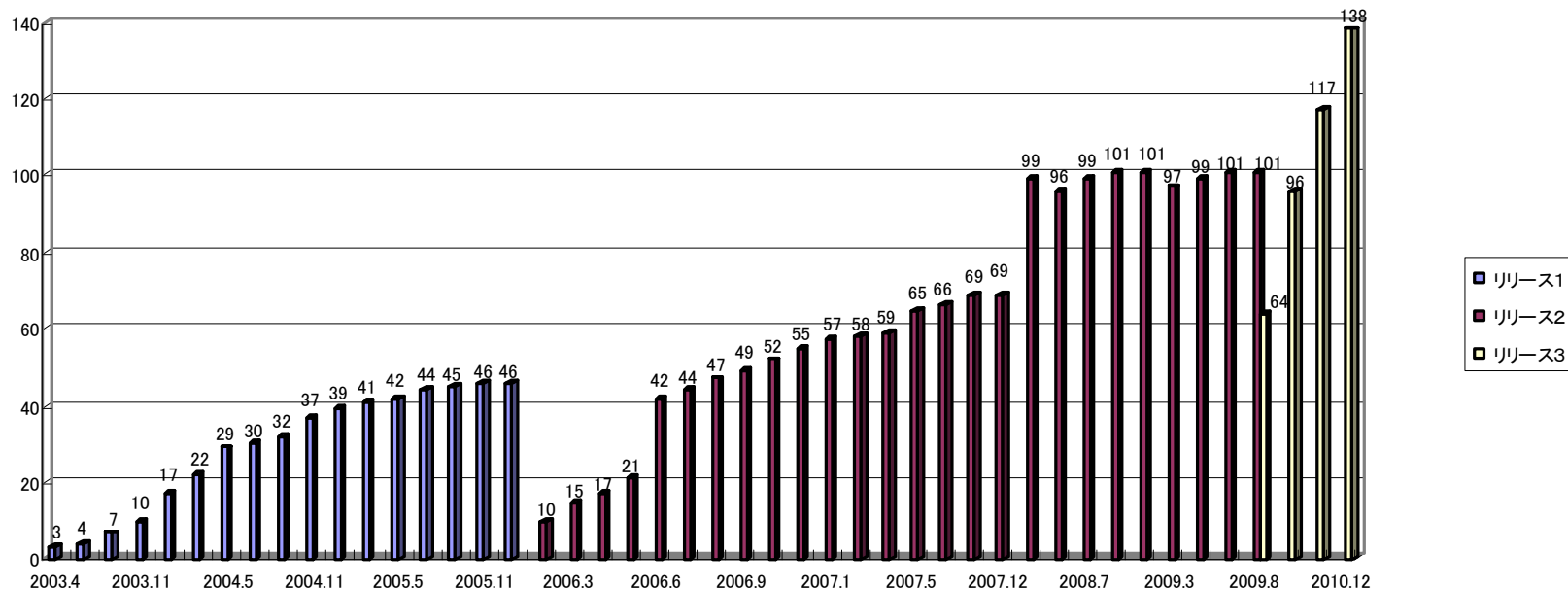
- Counting Online Usage of Networked Electronic Resources <<http://www.projectcounter.org/>>
- 図書館, 出版社, 仲介業者による国際的なイニシアティブ
- 参加機関数222(業界機関10, 図書館コンソーシアム55, 図書館81, ベンダー76)
- COUNTER実務コード(COP)
 - ➡ 信頼性があり、比較可能で、整合性のある利用データの取得
 - 雑誌・データベース
 - 図書・参考資料

COUNTER準拠利用統計



- 事実上の業界標準
- 130を超える出版社が採用
- 少なくとも15,000タイトル以上の雑誌を対象
- 図書館:コレクション構築の判断に使用
→ cost per use(利用単価)
- 出版社:マーケティングで「価値」を証明するために使用
- しかし、出版社が共通で提供するのはJR1(雑誌レポート1)のみ

COUNTER実施コード準拠 ベンダー数の推移: 2003.4~



JR1



Microsoft Excel - JR1V2

File Edit View Insert Format Tools Data Window Help

Type a question for help

129

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	Journal Report 1 (R3) Number of Successful Full-Text Article Requests by Month and Journal										
2	<Criteria>										
3	Date run:										
4	yyyy-mm-dd										
5		Publisher	Platform	Print ISSN	Online ISSN	Jan-2009	Feb-2009	Mar-2009	YTD Total	YTD HTML	YTD PDF
6	Total for all journals		Platform Z			772	972	1165	2909	1032	1877
7	Journal of AA	Publisher X	Platform Z	1212-3131	3225-3123	456	521	665	1642	522	1120
8	Journal of BB	Publisher X	Platform Z	9821-3361	2312-8751	203	251	275	729	290	439
9	Journal of CC	Publisher Y	Platform Z	2464-2121	0154-1521	0	0	0	0	0	0
10	Journal of DD	Publisher Y	Platform Z	5355-5444	0165-5542	113	200	225	538	220	318
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											

Sheet1 / Sheet2 / Sheet3 /

Ready

COP雑誌・データベース 利用統計レポート



- JR1=雑誌レポート1: 月別および雑誌別の成功した論文フルテキスト要求件数
- JR1a=月別および雑誌別のアーカイブからの論文フルテキスト要求件数
バックファイル
- JR2=雑誌レポート2: 月別および雑誌別のアクセス拒否数
- JR2=雑誌レポート5: 出版年別および雑誌別の成功した論文フルテキスト要求件数
- CR1=コンソーシアムレポート1: 月別の雑誌論文または図書の章の成功したフルテキスト要求件数(XMLのみ)
- JB1=雑誌／図書レポート1: 月別およびタイトル別のアイテムフルテキスト要求件数(XMLのみ)-オプション
- JR3=雑誌レポート3: 月別, 雑誌別, およびページタイプ別の成功したアイテム要求数とアクセス拒否数-オプション
- JR4=雑誌レポート4: 月別およびサービス別の総検索実行数.-オプション

利用統計改善の試み

- 定期監査の実施
 - 品質管理
- 横断検索への対応
- クローリングへの対応
 - 意図しない利用(過剰カウント)の排除
- 研究開発
 - ①新しい利用指標の開発
 - Journal Usage Factor
 - ②粒度の高いレベルでの利用統計レポートの開発
 - PIRUSプロジェクト

論文レベルの利用統計の必要性



- ハイブリッド型オープンアクセスジャーナルの登場
商業出版社が採用(例: Open Choice, Online Open)。論文単位のオープンアクセス。著者の判断。
- 著者のウェブサイトや機関リポジトリなどによる電子ジャーナルに掲載された論文の出版社版等の提供
- 個々の論文のグローバルな利用への関心の高まり
- 論文や雑誌の価値を測定するためのオンライン利用データの重要性

- 機関リポジトリや出版社や他の機関が搭載する個々の雑誌論文のオンライン利用統計を記録・報告・統合を可能とする世界標準の開発を目的
- JISC(合同情報システム委員会)が助成
- PIRUS1 2009年1月終了
- PIRUS2 2009年10月~2010年12月

PIRUS2



- 権威があり、信頼できる個々の論文の利用統計の作成と共有が出版社やリポジトリや他の機関で可能となる一連の標準やプロトコルや処理を開発することを目的
- XMLベースのCOUNTER準拠利用データの入手、SUSHIプロトコルの採用、OpenURLの枠組みなどの技術的進展を基盤

<http://www.cranfieldlibrary.cranfield.ac.uk/pirus2/tiki-index.php?page=pirus2>

AR1 (Article Report 1) 草案



Journal	Print ISSN	Online ISSN	Publisher	Platform	Article title	First Author Surname	Article Version	DOI	Jan-09	Feb-09	Mar-09	Total
					Totals for all articles				225	271	195	691
African Affairs	0001-9909	1468-2621	Oxford Journals	HighWire	Article title 1	Surname	Version of Record	10.1093/afraf/adn001	11	21	23	55
African Affairs	0001-9909	1468-2621	Oxford Journals	HighWire	Article title 2	Surname	Accepted Manuscript	10.1093/afraf/adn002	40	65	3	108
African Affairs	0001-9909	1468-2621	Oxford Journals	HighWire	Article title 3	Surname	Version of Record	10.1093/afraf/adn003	25	42	31	98

出典: <http://www.cranfieldlibrary.cranfield.ac.uk/pirus2/tiki-index.php?page=Project+Plan+and+Progress>

プロトタイプサービス



- 出版社(利用データの提供)
ACS Publications, Emerald, Institute of Physics Publishing, Nature Publishing Group, New England Journal of Medicine, Oxford University Press , Springer, Wiley
- リポジトリ(利用データのテスト)
Bournemouth University Research Online (BURO), Cranfield CERES, Harvard DASH, University of Edinburgh ERA , University of Huddersfield Repository, Oxford University Research Archive (ORA) , University of Salford Institutional Repository, Southampton ECS EPrints Repository

- 機関リポジトリの運営主体としては必要
- コレクションの評価のための統計と別の次元
- 電子ジャーナルの利用統計ではタイトルレベルのOA・非OAの区別、あるいはバックファイルの利用統計と同じように差分としてのOA論文のダウンロード件数が必要

最後に



- 電子ジャーナルの利用統計の動向を見ると従来の図書館の業務やサービスが揺らいでいることが見えてくる
- 粒度の変化によって、有料・無料、メディア（図書、雑誌）、コレクションといった従来の概念についてとらえ直しが必要